

A N D

千駄ヶ谷大通り商店街&神宮前二丁目商和会Presents **アンドJ**

Maintenance

特集

鍼灸院・整体・マッサージ・クリーニング

地元で、メンテナンス。

心も体も整える、この街のプロフェッショナル

インタビュー

神ニストリートギャラリー ロレンツォ&ト

アートを通じた地元やアーティストとのつながり

6

Toto Tvalavadze
(トト・バラヴァズ)

ジョージア出身。日本に住みながら、ソフトウェアエンジニアの傍ら、写真や本制作などのアーティスト活動を行っている。散歩好き。

Lorenzo Menghi
(ロレンツォ・メンギ)

渋谷区に住むイタリア人写真家。日本在住歴は9年で、学生時代はアジア文化を研究していた。ラブホテルといった昭和の日本を彷彿とさせる風景なども撮影するなど、写真アーティストとしても活動。

神ニストリートギャラリー（Jinny Street Gallery）は、計42か所に設置された神宮前二丁目商和会の街路灯の展示ケースを利用したギャラリープロジェクトだ。アーティスト活動を行うロレンツォ・メンギさんとトト・バラヴァズさんが2023年より継続的なアートプロジェクトとして始めた。ロレンツォさんとトトさんに、神ニストリートギャラリーについて聞いた。

商店街の街路灯をギャラリーに

ロレンツォ：神ニストリートギャラリーを始めたきっかけは、神宮前二丁目の通りを自転車通っていたときに街路灯の展示ケースが目に入ったことでした。僕はデイトタイムの仕事以外にアーティスト活動を行っていて、昔は野外での写真展なども開催していました。それで、「ここに自分の写真を飾りたい」と思って、商和会に問い合わせをしたことがこのプロジェクトのスタートです。2021年に展示ケースを利用して、自分の写真展を開催しました。

トト：僕はもともと日本のデザインや写真、写真家でいうと川内倫子さんや森山大道さんのセンスが好きで日本にきました。ロレンツォの展示を見て面白い取り組みだと思い、共通の友達だったので、彼を紹介してもらったんです。そのつながりから、僕も2022年に写真展をやらせてもらいました。

ロレンツォ：それまで街路灯の展示ケースはあまり使われていなかったようで、展示は地域の人みんなに喜んでもらえるんですよね。それで、2023年から継続的なアートプロジェクトとしてスタートさせました。展示期間は約1ヶ月で、これまで2年間で約20回ほどの企画展示を開催しています。アーティスト自身がキュレーションまで行うので、展示は本当に個性的なものばかり。どれも印象深いです。昨年10月の盆栽とソフビ怪獣を組み合わせた小松良明さんの『Ultra Axis』は特に好きでしたね。

トト：僕は2023年3月のロープアーティスト・澁澤コウヘイさんの『縄套の街角』が記憶に残っています。緊縛をテーマにしながらもセクシュアルな要素はなく、展示スペース自体をロープで縛るインスタレーションがとてもユニークでした。

ロレンツォ：神ニストリートギャラリーの活動を続けることで街の人とのつながりもできて、地元のコミュニティにも溶け込むことができました。本当にアットホームですよ。

トト：外国人の立場だと地元の人と深く関わる機会はなかなかないので、人とのつながりの大切さを改めて感じました。また、活動を通じて、日本にはクリエイティブで活気にあふれた人が多いことにも気づきましたね。地元のアーティストと出会う機会も増えたので、今後はその人たちと海外アーティストとのつながりも増やして、ギャラリー全体の注目度を高めるような活動をしていきたいです。

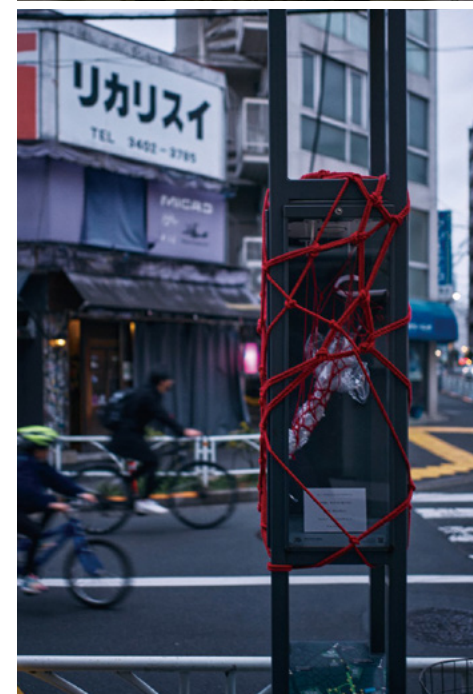
ロレンツォ：神ニストリートギャラリーはパブリックアートとして人目に触れやすく、さまざまな人にアートを身近に感じてもらえる場所だと思っています。

トト：美術館のような箱の中に入るのではなく、街全体がギャラリーとなっていてそこを散歩する。そんな“逆ギャラリー”のような体験ができるのは珍しい面白い。

ロレンツォ：そして、今年3月からは『導き vol.2』という展示を予定しています。これは2年前に地元のアーティスト6人で開いた展示の第2弾で、今回は地元のアーティストに加えて、この活動を通じて仲良くなったアーティストもたくさん参加する予定です。また、8月には神ニエリアの昔の写真をイラストにする展示も計画しています。昔の神ニの写真をお持ちの方がいれば、ぜひご提供いただけたらうれしいです！

トト：プロジェクトに参加してくれるアーティストもいつでも募集しているので、興味を持った方はウェブサイトからご連絡ください！

ウェブサイトはこちら



上：小松良明さんの『Ultra Axis』の展示

©Lorenzo Menghi

下：澁澤コウヘイさん『縄套の街角』の展示

©Toto Tvalavadze

Jinny Lemon Sour

(ジンニーレモンサワー)

神ニストリートギャラリーでは、展示アーティストとともに展示をめぐるアーティストウォークなども行っている。お酒が入ることもあり、そんなときによりアートとの接点になればと、2024年に生まれたのが「ジンニーレモンサワー」だ。ラベルには新進気鋭アーティストの作品を起用し、数ヶ月で入れ替わる。また、世界一美味しいレモンサワー



として新宿ゴールデン街で有名な「OPEN BOOK」系列店が製造している。

